

第19回「春の会」のご報告

令和7年（2025年）4月16日、東京・中央区の銀座ライオンクラシックホールにて、「春の会」が開催されました。春の会は、溶接学会春季全国大会の会期に合わせた恒例行事ですが、新型コロナウイルスの影響により一次中断していました。昨年、5年ぶりに大阪で再開され、今年は東京での開催となりました。

今回は、昭和41年（1966年）から令和4年（2022年）までの幅広い学部卒業生と大学関係者を含む51名にご参加いただき、盛会となりました。

冒頭、瀬戸 東部支部長の開会挨拶、馬淵 溶生会会長のご挨拶に続き、神原 生産科学コース長および藤井 接合科学研究所長より、大学の近況についてご報告いただきました。その後、才田 溶生会専務理事の乾杯のご発声により盛宴が始まりました。

若手参加者の紹介もあり、会は終始なごやかな雰囲気の中で進行し、白樫 溶生会副会長による中締めの後、参加者は2班に分かれて記念写真を撮影し、盛況のうちにお開きとなりました。

「春の会」は、世代を越えた交流の場となっています。溶生会会員の皆様の参加を心よりお待ちしております。



卒年平成2年（1990年）まで



卒年平成3年（1991年）以降